

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 クルーズ株式会社

コード番号 2138 URL <http://crooz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略担当執行役員 (氏名) 仲佐 義規

TEL 03(5786)7080

四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,977	28.8	823	△17.1	830	△16.4	508	△12.9
24年3月期第2四半期	3,864	67.2	994	110.8	994	111.3	583	117.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4,240.18	4,220.57
24年3月期第2四半期	4,605.30	4,409.52

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,320	2,008	60.2
24年3月期	4,178	2,580	61.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,000百万円 24年3月期 2,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	23.1	2,000	2.3	2,000	2.3	1,200	5.3	10,307.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	127,812 株	24年3月期	127,812 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	14,934 株	24年3月期	— 株
----------	----------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	119,945 株	24年3月期2Q	126,730 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のインターネットビジネス市場は、モバイルインターネット領域が成長を加速し拡大を続けました。特に、当社が注力事業と位置づけているソーシャルゲームは、急速に市場を拡大し、その市場規模は平成23年度に2,650億円と、ゲームソフト市場でトップの規模に成長しました。また、今後も市場の成長は継続し、2年以内に5,750億円を超える見込みです（注1）。また、スマートフォンの本格的な普及が進む中、モバイルインターネットの利用がさらに拡大すると見られ、モバイルインターネットビジネスの存在感は今後のインターネットビジネス市場においてますます高まるものと考えています。

そのような状況の中、当社におきましては、昨年度末にリリースしたオリジナルゲームタイトルである「神魔×継承！ラグナブレイク」がMobage上で登録会員数が100万人（平成24年9月末時点）を突破し成長を続けております。加えて、当社が提供するコンテンツの平成24年9月末時点の合計会員数は、あわせて932万人（注2）を突破し、引き続きソーシャルゲーム業界を牽引するポジションを確立しています。

また、当社では、ユーザーの動向分析や効果検証といったPDCAサイクルを、人に依存せず素早く実施できるようにするために、マーケティングデータベース「Compass」、開発高速化フレームワーク「Venus」、大量のトラフィックに柔軟に対応できるインフラ共通基盤「Zeus」、業務高速化システム「Chronometer」という4つの自社システムを保有し、これらの改善を日々進めることにより、継続的に技術力を成長させています。さらに、「神魔×継承！ラグナブレイク」を代表とする高品質オリジナルタイトルの提供、およびコンテンツ自体に魅力があり、ソーシャルゲームの醍醐味であるコミュニケーション要素の強い著作権を持つことで他社と差別化を行っております。

今後は、引き続き提供するゲームの選択と集中を進め、「神魔×継承！ラグナブレイク」などの高品質オリジナルタイトルに絞って提供していきます。

海外展開につきましては、「神魔×継承！ラグナブレイク」を欧米向けにローカライズした「Deity Wars」の配信を手始めに、まずは市場規模の大きい北米でのヒットを狙ってゲームを配信していきます。また、グローバルな人材採用やオフショア開発拠点の計画を推進し、海外でヒットタイトルを出せる組織作りとノウハウ蓄積を進め、海外売上比率を高めてまいります。

この結果、第2四半期における売上高は4,977,722千円（前年同四半期比28.8%増）、営業利益は823,905千円（前年同四半期比17.1%減）、経常利益は830,854千円（前年同四半期比16.4%減）、四半期純利益は508,590千円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①インターネットコンテンツ事業

この結果、売上高は4,065,414千円（前年同四半期比38.3%増）、セグメント利益は755,852千円（前年同四半期比17.5%減）となりました。

#### ②インターネットコマース事業

この結果、売上高は777,693千円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント損失は5,754千円（前年同四半期は1,016千円のセグメント損失）となりました。

#### ③インターネットソリューション事業

この結果、売上高は134,614千円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント利益は73,807千円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

（注1） 一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム及び三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社調査を基に当社にて算出しております。

（注2） 会員数はCR00Z単体の数字のみを記載しており、閉鎖したタイトルや閉鎖予定のタイトルは会員数から既に除外しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、売上増加に伴い売掛金が188,097千円増加した一方で、法人税、配当金の支払、自己株式の取得などによる現金及び預金の減少1,138,402千円などにより、3,320,681千円（前事業年度比20.5%減）となり、前事業年度比857,343千円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、未払法人税等の減少273,709千円などにより、1,312,446千円（前事業年度比17.9%減）となり、前事業年度比285,213千円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払191,718千円及び四半期純利益の計上508,590千円により利益剰余金が316,872千円増加した一方で、自己株式の増加888,719千円などにより、2,008,234千円（前事業年度比22.2%減）となり、前事業年度比572,130千円の減少となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に発表した業績予想と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,442,369	1,303,966
売掛金	1,056,400	1,244,498
商品	32,489	17,722
その他	76,667	66,799
貸倒引当金	△4,359	△2,509
流動資産合計	3,603,568	2,630,477
固定資産		
有形固定資産	161,886	226,057
無形固定資産	29,249	26,528
投資その他の資産	383,321	437,617
固定資産合計	574,457	690,204
資産合計	4,178,025	3,320,681
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	631,261	592,938
未払法人税等	570,904	297,195
ポイント引当金	9,899	7,389
その他	385,594	414,923
流動負債合計	1,597,660	1,312,446
負債合計	1,597,660	1,312,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	423,203	423,203
資本剰余金	413,203	413,203
利益剰余金	1,738,445	2,055,318
自己株式	—	△888,719
株主資本合計	2,574,852	2,003,005
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	260	△2,494
評価・換算差額等合計	260	△2,494
新株予約権	5,252	7,723
純資産合計	2,580,365	2,008,234
負債純資産合計	4,178,025	3,320,681

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,864,370	4,977,722
売上原価	1,905,059	2,921,311
売上総利益	1,959,310	2,056,411
販売費及び一般管理費	* 965,306	* 1,232,505
営業利益	994,004	823,905
営業外収益		
受取利息	158	197
業務受託手数料	—	6,014
投資事業組合運用益	—	549
その他	696	1,098
営業外収益合計	855	7,861
営業外費用		
自己株式取得費用	—	911
その他	723	—
営業外費用合計	723	911
経常利益	994,136	830,854
特別利益		
関係会社清算益	—	11,119
新株予約権戻入益	—	95
特別利益合計	—	11,214
特別損失		
倉庫移転費用	3,935	—
和解金	—	20,000
特別損失合計	3,935	20,000
税引前四半期純利益	990,201	822,069
法人税、住民税及び事業税	392,366	290,084
法人税等調整額	14,202	23,394
法人税等合計	406,569	313,478
四半期純利益	583,631	508,590

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

当社は、平成24年5月15日開催の取締役会および平成24年6月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得を決議し、当第2四半期累計期間に888,719千円を取得しております。この結果、当第2四半期会計期間末における自己株式の残高は888,719千円となっております。